

かかみまち 議会だより



お祭りのはじまりだ！

(7/5 みやざき園 夏まつり)

写真の紹介は15ページ

議会中継はこちらから



加美町議会映像配信

検索



<http://www.kami-town.stream.jfit.co.jp/>

6月定例会／4月臨時会

- 議会改革 議員定数・報酬を検討 …… P2
- 子育て支援に基金を設置 …… P4
- 一般質問 町政を問う（9人が質問） …… P6
- あれからどうなった（追跡シリーズ） …… P14

あり方を考える

表1 議員定数の変遷

年月	旧中新田町		旧小野田町		旧宮崎町	
	法定数	条例定数・現員数	法定数	条例定数・現員数	法定数	条例定数・現員数
H15.1	22人	18人・17人 (人口13,915人)	18人	18人・18人 (人口8,026人)	18人	16人・14人 (人口6,215人)
年月	加美町					
	地方自治法の上限定数			条例定数 (=現員数)		
H15.4	26人			49人 (人口28,289人)		
H17.4	26人			20人 (人口27,877人)		
H25.4	撤廃 (H23法改正)			20人 (人口25,571人)		
H29.4	—			18人 (人口24,071人)		
R3.4	—			17人 (人口22,413人)		

議員定数

議員定数の変遷は表1のとおり、合併時は旧町の時代の議員が2年間その

議会改革推進協議会では、議会改革の一環として、議員定数・報酬・政務活動費について調査・検討を行っています。その経過を報告します。

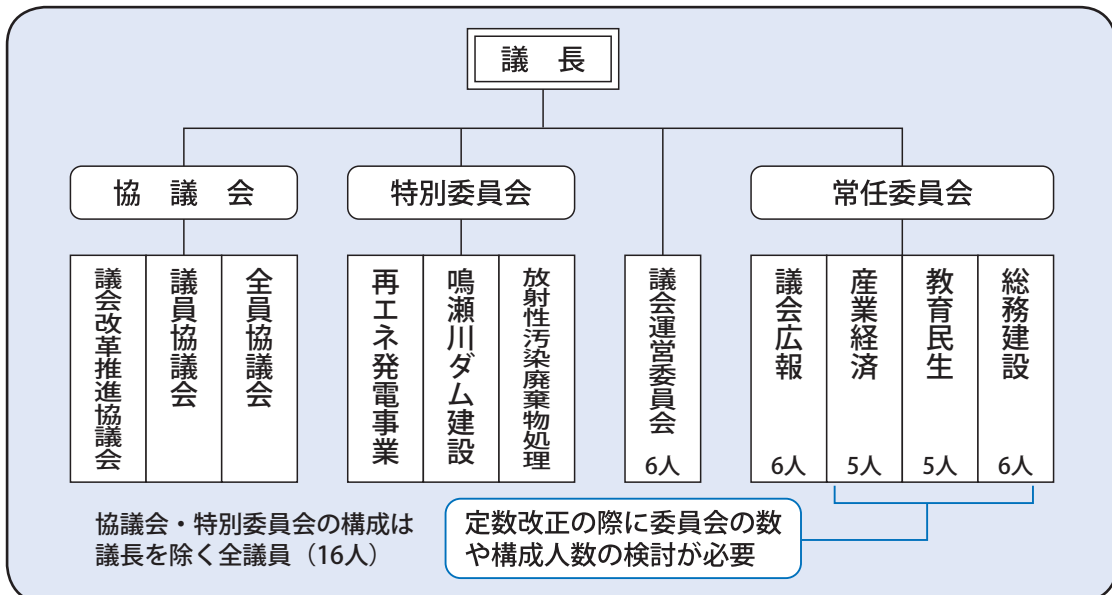
議員定数の変遷は表1のとおり、合併時は旧町の時代の議員が2年間その数適正化について検討を

重ね、令和3年4月からは17人となっています。また、令和2年2月には定数削減を求める請願の提出もありました。

議員定数は、加美町議会基本条例で「効率的かつ能率的な議会運営の視点からだけではなく、町民の代表である議会が、町民の意思を町政へ十分に反映させることが可能となるよう定める」「町民の意見の聴取及び反映に努めるとともに、人口面積、財政力及び町の事業課題並びに類似自治体の議員定数と比較検討して定める」とあります。

定数削減の検討にあたり、常任委員会の構成人数について、全国町村議会議長会発行の「議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き」の中で、討議できる人数基準として少なくとも7〜8人必要と示されており、その点を考慮して進めていくこととしています。

令和5年度 議会の構成



議員定数・報酬の

議員報酬

議員報酬は表2のとおり、平成29年4月に一度増額を行っています。

○議員報酬改定はなぜ今必要なのか

今日、町村においては議員のなり手不足問題が広がっています。本町も例外ではなく、多様な住民の声を反映するのが難しくなりつつあります。

表2 議員報酬（月額）の変遷

年月	議長	副議長	委員長*	その他議員
H15.4	325,000円	247,000円	230,000円	
H29.4	331,000円	266,000円	249,000円	246,000円

* 常任委員会または議会運営委員会の委員長

なり手不足の要因は、生計を立てることのできない議員報酬の低さによる魅力の無さや、議員活動が不透明であることなどさまざまあります。

加美町議会議員の報酬は、令和4年7月現在、議員報酬と政務活動費（後述）の合計で、県内町村21議会中14番目です。

多様な人材・世代が将来立候補し議員活動しやすい条件を創り出すことで、地域民主主義の持続につながるのと考えから、議員報酬の増額検討が必要と考えます。

○議員報酬額はどのように算定されるのか

前述の町村議会議長会発行紙の中で「活動内容を踏まえた原価方式」が示され、議員報酬は、町長の給料を基準として、町長の職務遂行日数と議員の活動日数を対比した比率により算出されています。この方式に則ると、加美町の場合は表3のとおりとなります。参考の数値ではあ

りませんが、職務遂行・活動日数の比率から見ると町長給料に対する議員報酬の比率が大きく下回っていることから、議員の活動に応じた適正な議員報酬額について検討していきます。

表3 町長と議員の職務遂行・活動日数などの比較

	給料・報酬	職務遂行・活動日数
①町長	855,300円	305日 ^{※1}
②議員	246,000円	128日 ^{※2}
比率 (②÷①×100)	28.8% 全国平均33.4% ^{※3}	42.0%

政務活動費

政務活動費とは、地方公共団体が議員または会派（同じ考えを持ち活動を共にしようとする議員のグループ）に対し、調査研究やその他の活動に必要な経費の一部として交付するお金のことです。

加美町ではまだ導入していませんが、住民から町政に対する要望が多岐にわたっている今日、議会の審議能力の向上や政策立案機能の強化を行う上で必要と考えられます。

県内町村では、近隣の色麻町など21議会中10議会が導入しています。

今後の進め方

町政への町民意見の反映、議員のなり手増加への環境整備、議会機能強化などのため、議員定数・報酬の適正化、政務活動費の導入に向けて現在取り組んでいます。

これらの実現のためには、議会でも調査・検討を重ねるだけではなく、町当局や町民の皆さんのご理解をいただくことが必要不可欠です。今後も検討経過を議会広報紙でお知らせしていくとともに、各種団体などとの意見交換会の開催も併せて検討していきます。

安心できる環境づくりへ

こども子育て応援基金を設置



安心して子育てできる町を目指して

加美町の子どもたちが心身ともに健やかに成長し、子育て世帯が安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを推進するため応援基金を設置します。基金の財源として、か

みでん里山公社による電気料金削減分や企業からの寄附金を積み立てています。令和6年度にはこの応援基金で中学校給食無料化などを実現する方向で検討しています。

6月定例会

6月定例会は、7日から9日までの3日間開催しました。一般質問は、9人の議員が町政運営について問いました。議案審議では各種公社の決算報告、こども子育て応援基金条例の制定、ス

クールバス・小型動力ポンプ付積載車の購入、令和5年度一般会計補正予算、教育委員の人事案件など24議案について慎重に審議した結果、監査委員の選任は不同意、他の議案は原案のとおり可決しました。

- 問** 財源の具体的な内容は。 **答** 今年度、かみでん里山公社から寄附された700万円である。
- 問** こども子育て応援基金、非常にいいものだと思うが定例会前に説明がなかったのではなか。 **答** 令和5年3月定例会の一般質問の答弁で「基金をつくって中学校の給食無料化に取り組み」と明言している。
- 問** 全員協議会での説明はなかったが。 **答** 今後、事前に説明したうえで議案を上げたい。

定例会で審議した内容

報告	6件
承認	1件
条例	3件
補正予算	3件
契約締結	6件
人事案件	4件
その他議案	1件

人事案件

任期満了に伴う教育委員会委員の任命、代表監査委員の選任について、無記名投票で採決が行われました。また、選挙管理委員会委員及び補充員の改選がありました。

教育委員



田中 舞さん
(中新田・四日市場宿)

賛成14 反対2

【任期】
令和5年6月29日
から4年間

監査委員

賛成6、反対10により選任不同意

星 豪 (雑式の目)
今野 喜寿 (東鹿原)
補充員 (敬称略)
黒須由美子 (十日町)

選挙管理委員会

委員 (敬称略)

高橋 良 (米泉)
青木 宏子 (南鹿原)
青木 圭 (西町)

児玉 公夫 (中新田城内)
早坂 繁 (上小路一)

補正 予算

酪農経営継続支援事業補助金780万円増、加美町こども子育て応援基金の積立金700万円増など、一般会計の既定予算に、歳入歳出それぞれ1億430万3,000円を追加し、総額136億9,379万5,000円とする補正予算を可決しました。

一般会計の補正予算

主な内容		補正額
歳入	過疎地域持続的発展交付金	1,325万円 増
	放射性物質汚染廃棄物処理事業費補助金	296万円 増
	ダム整備費補償金	1,048万円 増
歳出	酪農経営継続支援事業補助金	780万円 増
	送迎用バス安全装置設置業務委託料	128万円 増
	こども子育て応援基金積立金	700万円 増
	小野田支所事務室移転工事	413万円 増

Pick up1

Pick up2

Pick up3

※ Pick up は、議員が質問した項目を中心に選んでいます。

問 酪農経営継続支援事業の概要は。

答 配合飼料価格の高騰に加え、各種機械の稼働に電気代が大きくかかるなど経営が厳しい状況にあるため、搾乳牛1頭当たり6000円を支給する。



Pick up1

搾乳牛1頭当たり6000円
酪農支援補助金 780万円 **増額**

Pick up2

スクールバスに安全装置
128万円 **増額**

問 小・中学校の送迎用バスに、児童・生徒の降車を確認するための安全装置を設置します。当初予算に計上したこども園・保育所バスの安全装置と同様に、運転手が後ろまで行って操作しないと警告のアナウンスが流れるものです。

問 設置する車両の数は。また、装置1台当たりの価格と補助金の額は。

答 安全装置を設置するのは11車両で、価格は1台当たり11万6000円。その内、学校安全特別対策事業補助金として、国から1台当たり8万8000円の補助を受ける。

Pick up2

小野田支所が
広くなります
413万円 **増額**

小野田支所を、JA退去後空きスペースとなっていた庁舎東側へ移設します。これにより、来庁者待合スペースが広がるなどサービス向上が図られます。



7月18日より、装い新たに業務開始！

町政を問う

9人が質問

似顔絵をかいてくれたおともだち

加美町立認定こども園

おのだにし園

きりん組



一般質問目次



発言順1 **伊藤 由子** (いとう ゆうこ) 7ページ

温暖化対策

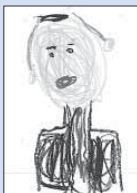
CO2削減のロードマップ作成は



発言順6 **木村 哲夫** (きむら てつお) 10ページ

町政運営

町民との信頼関係が希薄では



発言順2 **伊藤 淳** (いとう じゅん) 8ページ

個人情報

緊急時に備えた情報共有は



発言7 **早坂 伊佐雄** (はやさか いさお) 10ページ

小学校再編

教育委員会決定前の公表は誤りでは



発言順3 **一條 寛** (いちじょう ひろし) 8ページ

投票所整備

投票支援カードなどの導入を



発言順8 **佐々木 弘毅** (ささき こうき) 11ページ

新庁舎建設

西田・矢越両町有地の有効活用は



発言順4 **味上 庄一郎** (みかみ しょういちろう) 9ページ

風力発電

地滑り地帯で処分場は反対、
風力は推進か



発言順9 **三浦 又英** (みうら またひで) 11ページ

風力発電

町民の幸せに繋がる事業か



発言順5 **高橋 聡輔** (たかはし そうすけ) 9ページ

風力発電

風力発電が景観に与える影響は

一般質問とは、議員が町政全般に関して、町長や教育長など執行機関に対し質問することで、定例会（年4回）に行われます。

※次ページより掲載しているQRコード（議員写真上）で、一般質問の映像を視聴できます。

CO2削減の

ロードマップ作成は



温暖化対策室長

町民の意見を取り入れていく

問 非常時の電源確保は大事。広原小学校の太陽光発電の耐用年数は大丈夫か。また、再生可能エネルギーの学習機会は確保されているか。

教育長 広原小学校は平成17年に設置。現在、広原小・宮崎小の太陽光発電が不具合の状態にあり、今後、修理・更新について検討していく。学習機会は、小・中学校ともに理科・社会・総合学習などで確保している。

りを支援する補助事業の採択を受けた。

問 CO2の削減は、町がやるというよりは、住民が生活の中で実行するというイメージを持ってもらう必要があると思うが、ロードマップをどのように作成するか。

再生可能エネルギー導入・省エネルギー促進・緑化推進・廃棄物抑制などあるので、町民の意見を取り入れながら作っていく。

質問のねらい

「地球温暖化対策」は何ということはない。今までやってきたことを改めて意識してやってみませんか、行動してみませんか、と訴えたい!



伊藤 由子 議員

問 地球温暖化対策実行計画の内容は。

町長 脱炭素の取り組みのロードマップとなるものであり、今年度と来年度の2か年で策定する。環境省の、計画づく

身近な脱炭素の取り組み例 3きい運動

- ①使いきり
 - ②食べきり
 - ③水きり
- による生ごみの減量化



少しの意識で家庭から脱炭素!

一般質問ページをコンパクトにしました

一般質問の掲載は、これまで一人1ページでしたが、今号から二人で1ページに変更します。変更の主な理由は左記のとおりです。今後、議会での審議内容やその結果、委員会の活動などを分かりやすくお伝えし、皆さんに読んでもらえる広報紙を目指していきます。

変更の主な理由

◆ 広報かみまちとの差別化を図るため、議員の取材による「広聴企画」を充実させていきたい。

◆ 定例会の内容をいち早くお届けする「速報版」を継続するため、コスト削減のためにページ数を減らさなければならぬ。



最も多くの割合を占めている

一般質問ページをコンパクトに!

町の皆さんが主役となる

広聴企画を充実させていきます!

一般質問の掲載情報が半減しますが、ぜひ、QRコードから議会映像をご覧ください。

個人情報

緊急時に備えた

情報共有は



町長

区長・民生委員に

冊子を配付

問 独居高齢者の情報管理と災害時緊急対応処理を担う、区長や民生委員との情報共有はどのように行われているか。

供は、毎年6、7月に区長会や定例会の場で冊子を配付している。個人情報なので、第三者に提供しないよう注意喚起している。

町長 町では、避難行動要支援者の情報登録台帳として整備し、令和5年3月末現在で803人が登録されている。区長及び民生委員への情報提

問 令和5年3月を最後に、およごび・おくやみの広報紙掲載が終了したのはなぜか。町

質問のねらい

円滑な日常生活や災害時における救難対応における個人情報、法のもとに、もっと柔軟に公開されてもいいのではという提案。



伊藤 淳 議員

町長 掲載を希望しない民の利便性のため、再度掲載を検討してほしい。

町長 掲載を増えていることや、高齢者を狙った事件が全国的に多発していることなど、個人情報の取り扱いをこれまで以上に慎重にしなければならぬと判断した。

町長 最近では色々な業者が代理で届出を行い、正確な情報を確認するまでかなりの時間を要することも一つの要因である。

その後、町民からの要望もあり8月号より掲載再開（希望者のみ）

投票所整備

投票支援カード

などの導入を



総務課長

導入できれば

支援がよりスムーズに

問 障がい者・高齢者など、全ての有権者が気持ち良く投票できるよう投票所の環境を整備し、投票率アップを図る考えは。

自治体の窓口で申請・届出を行う際に書類を書かなくて済む「書かない窓口」の導入が広がっている。我が町でも取り組むべきでは。

町長 来庁者の記入の手間が省けるほか、手続き時間の短縮などのメリットがあるといわれている。しかし、導入には多額の費用を要するので、国の動向及び県内市町村の状況や、システムの運用を伝える「投票支援カード」の導入の考えは。

導入できれば、現在行っている支援がよりスムーズにいくと考える。

質問のねらい

- 障がい者、高齢者が安心して投票できる環境を。
- 「書かない窓口」設置でデジタル化実感を。
- ネーミングライツで歳入確保を。



一條 寛 議員

用にかかる経費なども調査研究していく。

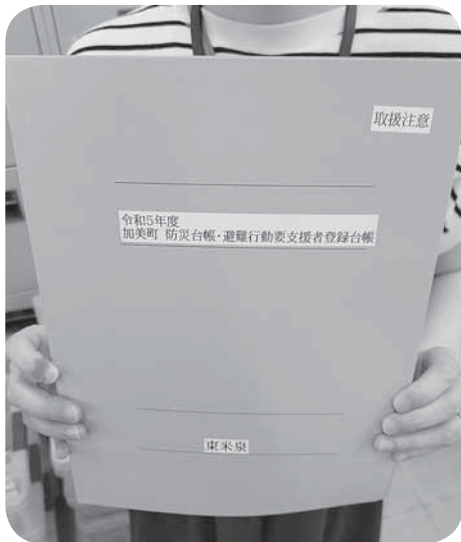
町長 スポーツ施設や文化施設などの運営資金調達的手法として、ネーミングライツ導入の考えは。

町長 施設の持続的な運営、維持管理、サービスの向上が期待されるので検討する。

Check

※ネーミングライツ

施設の名称に企業名や商品名を付与させる代わりに、その企業から対価を得て、施設の運営維持や利用者へのサービス向上を図ること。



避難行動要支援者登録台帳

風力発電

地滑り地帯で

処分場は反対 風力は推進か



町長

風車が倒壊しても 大規模な環境破壊にはならない

新庁舎建設を先に 延ばしたことで、社 会情勢が変化し建設コス トが増加した。責任は町 長にあると思うが。

当初、検討委員会 では西田という意見 だった。その後、矢越に 土地を購入したことに よって問題が複雑化した と思っている。

かみでん里山公社 の利益を1市3町に 寄附したが、補助金を減 額している各種団体に全 額還元すべきでは。

1市3町のごみ焼 却でつくられる電気 を購入しており、大崎全 体で循環するのが理想。 今後も協力しながら電力

を確保し、地域住民にも 還元していく。

問

指定廃棄物最終処 分場反対運動で、町 長は候補地周辺全体が地 滑り地帯だとして反対し た。現在国の施策で、民 間事業者がその地帯に展 開する風力発電事業を推 進するのはなぜか。

町長

処分場と風力を同 一視はできない。処 分場は、地滑りで施設が 崩壊し放射能が漏れ出せ ば、長期にわたり水源が 汚染され、大崎地域の産 業に打撃を与える。しか し、風車が倒壊しても大 規模な環境破壊にはなら ないと考える。

質問のねらい

猪股町長の3期 12年間で、就任当初 から残された課題や 新たな問題を問いた だし、解決に向けた 考えを引き出す。



味上 庄一郎 議員

風力発電

風力発電が

景観に与える影響は



町長

一番損ねて

いるのは送電線

世界農業遺産大崎 耕土は、農業上のさ まざまなポイントを評価 され認定されている。風 力発電施設は生物多様性 を阻害するもの、あるい は景観を大きく変えるも のと思うが。

生物多様性は、風 力発電施設ができた からといって崩壊するこ と、JRE宮城加美では 4200kWの発電機が10 基で4万2000kW、単 価はFIT制度の売電価

景観については、農村 地域、山間部の景観を一 番損ねているのは送電線 だろうと思っている。風 車が建ったからといって 景観が損なわれるとは、 私は認識をしていない。

問

再生可能エネルギー に対する宮城 県独自課税では、着工済 みであるJRE宮城加美 は除外されている。しか し、もし課税の対象だっ たならば、課税額はどの 程度になるか。

問

再生可能エネルギ ーで区分けされており4 740円が現在示されて いるので、それを掛ける と年間1億9908万円 になる。

質問のねらい

風力発電が世界農 業遺産の生物多様 性、景観に与える影 響をどのように考える か。また県独自課税 は当町にどう影響す るかを伺う。



高橋 聡輔 議員

Check

※宮城県独自課税

再エネ発電事業を適地に誘導し、森林の大規模開 発を抑制することで、再生可能エネルギーの最大限 導入と環境保全の両立を図るために考案された制度。 来年4月施行予定。 森林の開発区域内の再エネ発電施設に課税される。 地球温暖化対策推進法に基づく促進地域で実施され る認定事業の発電施設は非課税となる。なお、施行 時点で稼働・着工済みの施設は対象外。



三ツ石ダム

豊かな水資源への影響は

町政運営

町民との信頼関係が

希薄では



町長

声を聞き反映させる
努力をしている

問 町政運営において町民との信頼関係が希薄になっていると感じるが。

町長 人により考え方や感じ方が違う。さまざまな制度を通して声を聞き、町政に反映させる努力をしている。

問 事業に関し町民への説明や理解が得られていないか疑問である。町長の使命とは何か。

町長 町民の命と暮らしと財産を守ること、持続可能な魅力あるまちにするためのチャレンジが大事である。

問 風力発電事業に関する鹿原地区住民アンケートは、賛成67%、反対62・9%だった。これは町民の声ではないのか。

町長 アンケート調査は前提が異なる結果も異なる。正しい情報あまり持っていない結果だと思つ。



事業者への質疑のほか、町長への意見もあった。「風力発電事業に関する町民座談会」(鹿原地区R5.6.5)

質問のねらい

猪股町政12年間の行政運営で、町民の声が届くまちづくり、地域コミュニティ役員のなり手不足、職員の育成ができたか検証する。



木村 哲夫 議員

問

新聞報道で加美町は、職員に占めるメタル不調者の割合がワースト3だが。

町長 報道された令和3年度の長期休暇は14人で、中でもメタル不調者が非常に多くなつてきている。

問

新庁舎建設の遅れに配置できず、職員負担が増えていると思うが。

町長 庁舎も要因の一つだが、それ以上に施設の多さが問題である。統廃合に取り組んでいるが簡単には進まない。

小学校再編

教育委員会決定前の

公表は誤りでは



教育長

次の委員会で提案し承認いただきたい

小学校再編計画と学力向上

問 教育委員会の決定なしに、小学校再編について公表し、物事を進めるのは手順が誤っているのでは。

教育長 以前より教育委員会に説明はしてきた。次の委員会で提案し、承認されれば準備委員会を立ち上げ進める。

問 教員の役割は、知識を教えるだけでなく、学習意欲を引き出すことも重要では。

町長 教員の役割は、知識を教えるだけでなく、学習意欲を引き出すことも重要では。

教育長 その点についても、学力向上と併せて取り組んでいきたい。さらに、子どもたちがしっかりとした大人になるような、知・徳・体のバランスがとれた健全育成に努めていく。

新庁舎建設

問 合併特例債の期限が近づく中で早急に進めるべきと思うが。また、小野田・宮崎両支所についての今後の考えは。

町長 庁舎は公約どおり西田町有地に造る考えに変わりはない。支所は機能を充実させ、存続させていきたい。

質問のねらい

- 教育委員会の決定なしに、小学校の再編を進めるのはいかがなものか。
- 新庁舎建設場所について町長の考えを問う。



早坂 伊佐雄 議員

やくらうゴルフでの太陽光発電事業

問 メガソーラーの着工は令和6年4月と公表されているが、経営が上手くいっている場合は着工を止められるのか。

総務課長 ゴルフ場経営が継続している間は発電事業は行わないと、ゴルフ場と発電事業者で確認していると聞いている。

問 薬菜地区の自然環境保全のために考えていることは。

総務課長 ゴルフ場の経営を続けてもらうことで、今の環境を維持できると考える。

新庁舎建設

西田・矢越両町有地の

有効活用は



町長

庁舎は西田へ

矢越には道の駅を

問

令和3年8月に新たに加美町新庁舎整備検討委員会が設置され、検討・準備されてきた。位置検討での意見報告はどのようなものか。

町長

位置に関しては、西田・矢越両町有地の利便性、まちづくり、安全性・防災拠点性など6項目での客観的な比較検討を行ったが、現状では大きな差はないとの内容だった。

両町有地を組み合わせた既存施設の配置や、まちづくりの全体像などの議論を進めるべきとの専門家の意見をいただいた。



西田町有地（職員駐車場とさわざくら公園）

問

まちづくりの観点から、西田・矢越の有効活用の構想はあるか。

町長

西田に役場庁舎があることで、隣接するさわざくら公園を活用し防災拠点としての一体的活用が可能になる。また商工会、商店街、金融機関、小学校、公共施設

質問のねらい

合併20年、紆余曲折の新庁舎位置は、矢越地区と条例で縛られた。加美町発展のため両町有地の最大活用の決断をすべき！時間が無い！



佐々木 弘毅 議員

などの連携が図りやすく、イベント開催上もふさわしいのではと考える。一方、矢越の町有地は国道347・457が交差する交通要衝で、交流人口、地域振興、お金の循環など利用価値の高い土地である。加美商工会から、道の駅要望もある。固定観念にとらわれず、持続可能なまちづくりのために、議論を進めていくことが必要と考える。

風力発電

町民の幸せに

繋がる事業が



町長

総合的に勘案し

判断している

問

丸森町の風力発電事業に関し、住民の反対、町としての反対決定、業者撤退についてどう感じるか。

町長

反対意見があることと、事業採算性が確保できないことなど、さまざまな理由から撤退を決めたと理解している。

問

風力発電事業に異を述べないのは我が町だけである。色麻町などと歩調を揃えてもらえないか。

町長

環境保全と再生可能エネルギーを両立するべきと、終始一貫言っている。

問

風力発電事業は町民を幸せにするのか。



「風力発電事業に関する町民座談会」
(中新田地区 R5.5.25)

町長

最大の使命は、町民の命と暮らし、財産を守ること。風力発電で経済が回り、命と暮らしが守られる。懸念はあると思うが、総合的に勘案し判断している。

問

風力発電事業者による座談会は、なぜ町主催なのか。

問

町長日記を読み、町は大丈夫なのかと心配する声がある。公費で自分の生い立ち、父親などの記事を載せるのはいかがなものか。

町長

その時々思うことと、感じることを率直に書いていく。時には私的なことも書くが、どいう姿勢で町政運営に当たっているかを伝える趣旨である。

質問のねらい

行政は風力発電事業に対し賛否を表明すべきではないと、加えて中止させる権限もないと言っている町長に疑念を抱き質問した。



三浦 又英 議員

化学肥料を低減する 機械導入に補助

2,500万円 増額

堆肥活用のための機械（マニースプレッダーなど）や、肥料を効率的に散布する機械（畝立て同時施肥機など）の導入に対し、費用の2分の1を補助します。上限は1事業者あたり150万円です。

答 補助金の申請方法は。

問 申請書のほかに機械の見積書やカタログを提出してもらい審査する。

デジタル技術を持つ 人材を育成

2,930万円 増額

株式会社ジーアングルに委託し、中新田高校、加美クリエイティブアカデミー、国立音楽院で、イラストやアニメーションなどのデジタルコンテンツ制作に関する講座を開きます。

また、国立音楽院での講座で作成する「音楽×クリエイティブが学べる町」PR動画を活用し、町や国立音楽院の魅力を発信することで、若者流出の抑制と入学者の増加を図ります。

臨時会

4月27日

一般会計の既定予算に、歳入歳出それぞれ2億949万2000円を追加し、総額135億8949万2000円とする補正予算を可決しました。内容を一部紹介します。

特別委員会

5月18日

鳴瀬川ダム建設に関する整備調査特別委員会

令和5年度は付け替え道路に着手



筒砂子地区工事用道路（筒砂子川仮橋） R5.7月撮影

筒砂子川仮橋は今年度完成予定。その後、鳴瀬川仮橋建設に取り掛かる

鳴瀬川総合開発事業は、鳴瀬川上流の支川である筒砂子川に、新たに「鳴瀬川ダム」を建設し、併せて現在の「漆沢ダム」の再開発（洪水調整専用化）を図るもので、総事業費は1450億円、令和18年度完成予定です。鳴瀬川総合開発工事事務局より、「令和5年度鳴瀬川総合開発事業は、は用地取得及び工事用道路工事（写真参照）を継続するとともに、国道347号迂回路や付け替え道路工事に着手。事業進展に向け、地質・水質などの調査に加え、鳴瀬川ダム本体や付け替え道路の設計を行う」との説明を受けました。

問 地すべり調査の内容は。

答 最初に航空写真などから地すべりの可能性がある場所を抽出する。その後、現地に入っ

問 大規模なダム開発に反対は無かったか。

答 今の時点では無いと認識している。

問 昨年4月、漆沢ダム管理庁舎反対側の法面大規模崩落があった。漆沢ダムの工事へ影響が無いかわかり調査をしてみたいが。

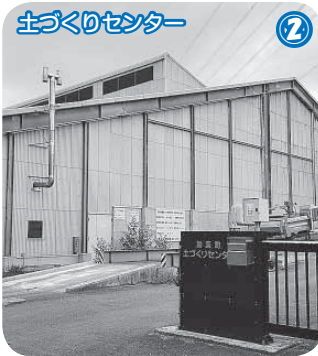
答 漆沢ダムは現在宮城県が管理している。県からは、専門家の調査の結果、漆沢ダムに影響は無いと聞いている。県において復旧工事を実施しているところであり、引き続き、宮城県と情報共有を図って進めていく。

議会のうごき

加美町議会の活動を報告します



中新田商店街から町の産業構造を分析



成分調整した堆肥を開発中



多くの事業者でテナントはほぼ満室

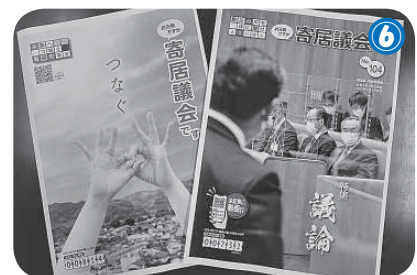


統合後の状況について見学・意見交換

月日	本会議・委員会など	内 容	
5月	12日	議会広報常任委員会 総務建設常任委員会	議会だより編集方針の検討 街なか空き家等活用調査事業など調査
	16日	教育民生常任委員会	中新田高校授業見学 ほか ①
	18日	鳴瀬川ダム建設に関する整備調査特別委員会	令和5年度工事概要など調査 ⇒ P12
		全 員 協 議 会	土づくりセンター条例の一部改正など4件協議 ②
		議会改革推進協議会幹事会	今後のスケジュール・協議事項など検討
	26日	議 会 運 営 委 員 会	第2回定例会の運営について協議
	29日	産業経済常任委員会	振興公社の経営状況など調査
6月	7日	議会広報常任委員会	議会だより速報版、第82号の内容検討
	7~9日	第 2 回 定 例 会	議案など24件審議 ⇒ P4
	8日	議 会 運 営 委 員 会	第2回定例会の運営について協議
	16日	議会広報常任委員会	議会だより速報版の編集
	20日	議会改革推進協議会幹事会	今後のスケジュール・協議事項など検討
	28日	議会改革推進協議会全体会	議員定数・報酬等のあり方について協議
29日	総務建設常任委員会	視察研修（学校跡地活用 山形県村山市）③	
7月	4日	議会広報常任委員会	議会だより第82号の編集
	7日	議会改革推進協議会幹事会	全体会での意見を踏まえ改正案検討
	11日	議会広報常任委員会	議会だより第82号の編集
	12日	教育民生常任委員会	鳴峰中学校授業見学 ほか ④
	14日	議会改革推進協議会全体会	議員定数・報酬等のあり方について協議 ⇒ P2
	18日	議会広報常任委員会	議会だより第82号の編集
	24日	全 員 協 議 会	スポーツ国際交流員の招へいなど2件協議 ⑤
	27~28日	議会広報常任委員会	視察研修（埼玉県寄居町 ほか） ⑥



カヌー強豪国ドイツから指導者を招きます



全国トップクラスの広報紙づくりを学びます

あれからどうなった vol.53

これまでの一般質問の内容が、その後どう取り組まれたかをお知らせします。

令和3年6月定例会 議会広報No.74号から

■世界農業遺産の取り組みは



問 大崎耕土世界農業遺産に関するPRと取り組みは。

答 稲作を支えてきた多くの地域資源や農産物の活用、農工商連携の推進、グリーンツーリズムなどの交流を通じて、大崎耕土の魅力を発信したい。

その後

R4.10.16
ワーケーションツアー (小瀬菜大根収穫)



■大崎耕土を体験してもらう

蟬堰散策や酒蔵見学、小瀬菜大根の収穫体験を組み込んだワーケーションツアーや、居久根をテーマとした環境シンポジウムの開催、グリーンツーリズムの教育旅行参加者に学習教材を配布するなど、加美町を訪れた人に大崎耕土を体験してもらうとともに、さらに魅力を知ってもらえるよう積極的にPRを行っています。

令和3年9月定例会 議会広報No.75号から

■中新田保育所民営化への町の関わりは



問 民営化に向けて、町はどのように関わっていくのか。

答 保護者・事業者・町の信頼関係が重要である。三者協議会を設置し、定期的な話し合いを行っている。

その後

R5.6.15 三者協議会視察
NOVAパイリンガル仙台富沢保育園



■協議・視察をニュースでお知らせ

保護者代表・株式会社NOVA・町の三者協議会を設置し、令和6年4月の移管に向けて協議しています。具体的には保護者アンケートの実施や、NOVAが運営する県内施設の保育状況を視察し「民営化ニュース」を発行して保護者と情報共有しています。今後、9月に入園説明会を行い、10月からは引継ぎ合同保育を予定しています。

課題解決の進み具合について
お天気マークで表しています



十分達成で
きている



さらなる進
展に期待



早急な対応
が必要

議会だよりにご意見を

昨年度より引き続きご協力いただく8人を含む、計18人に委嘱状を交付しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、委嘱状交付式は行わず郵送での交付となりました。

モニターからのご意見は、議会広報活動に大いに活用させていただきながら編集に努めていきます。また、町民の皆さんからも議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。



議会傍聴について

議会定例会の日程は、開会前に各家庭にチラシを配布してお知らせします。

議会の傍聴については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から傍聴席数を制限しています。中新田本庁舎や小野田・宮崎支所にて中継映像を視聴できるほか、インターネットでも生中継しておりますので、そちらでのご視聴もお願いします。

インターネットで議会を生中継しています

インターネット上で、議会の生中継を視聴できます。「加美町議会映像配信」と検索するか、下のQRコードをスマートフォンで読み取り、映像配信ページまでアクセスをお願いします。

議会中継を
スマホから



QRコード

次回の定例会は
9月中旬ごろ
の開催予定です

議会だよりへ一言

議会だより79号（令和4年11月1日発行）に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター 〈令和3年度決算・討論〉
討論について賛成意見は掲載されているが、反対意見の掲載はないのか。



広報委員会として どの議案についても、議場で行われたすべての討論を掲載しています。今回の決算認定においては、賛成討論が2件で反対討論はありませんでした。

モニター 〈その他〉
いつものことながら代わり映えのない紙面。モニターだからすみずみまで目を通すが、そうでなかったら忘れられがちな「議会だより」手に取って読んでもらうには、なかなか難しいこと。



広報委員会として 読者を引き込む見出し・レイアウトや、興味をもって読んでもらえる企画など、より良い広報紙づくりに努めます。

情報公開 ●議長交際費内訳 (4月～6月)

月	件数	金額	内訳(※)
5月	1件	5,000円	賛助金
6月	1件	3,000円	お悔み

※詳細は町ホームページにて公開しています

表紙写真の紹介



みやざき園・夏まつり
(7月5日)

今日は待ちに待った夏まつり！始めに、年長のきりん組のおともだちがすずめ踊りを披露。両手を広げて飛び跳ねて、元気いっぱいにお祭りのスタートを飾りました。

射的、おもちゃすくい、くじ引き、お面屋さん。色々なお店を回って、とっても楽しかったね！



～ みんなで仲良く～

宮崎・中町 (41戸)

佐藤 鉄郎 区長



集落内を東西に走る県道最上小野田線に41世帯、120人が居住している中町

はコンパクトな(東西約300m南北約250m)行政区で、旧宮崎町の商店街の中心にあります。北側に鯉が泳ぐ美代(みだい)川が流れ、中でも屋敷公園のしだれ桜やムラサキシキブが美しく、散歩コースとして訪れた人々を楽しませてくれます。

地区の活動では、宮崎地区総合スポーツ大会などに毎年、全種目出場。また、婦人防火クラブによる廻番・かまど検査、安全安心パトロール隊による巡回、交通安全母の会のカーブミラー清掃、子ども会の廃品回収、婦人会によるミニデイサービスの開催など、地区の皆さんの協力で健康増進、安全安心な地域づくりに努めています。

当地区もほかの行政区同様、少子高齢化・後継者不足による空き家や高齢者世帯が増加していますが、これからもさまざまな行事などを軸として、みんなで楽しみながら地域活性化や環境整備に取り組んでいきたいと思っています。



ミニデイサービスでトランプを楽しむ

われらが仲間

アロハの心を忘れずに アロハ・フラ・モキハナ



2023年 アロハ・フラの集い
仙台ロイヤルパークホテルにて R5.5.16

代表 小笠原悦子
連絡先 63-2677

アロハハハ!! 南国ハワイアンミュージックに合わせ、ゆっくり身体を揺らすフラ。見た目よりハードな有酸素運動です。(腰痛にもいいんですよ!) 曲目には自然な愛をうたう歌詞が多くあり、ハワイの文化や歴史を学びながら曲の意味を手話で表現しています。

この会は平成17年に鈴木先生が立ち上げ、先生のご指導のもと、優しさ・調和・寛大さ・忍耐強さを大切にしています。教室ではアロハの心を忘れずに、笑顔の絶えないレッスンをモットーに日々励んでいます。地域のイベントやボランティア活動にも積極的に参加しています。

皆さん! 私達と一緒にフラを踊ってみませんか!!

編集後記

多くの方に読んでいただくため、モニターの見解も参考に、議会活動の様子をお知らせする記事を中心に編集することにしました。

コスト削減のため一般質問のページを従来の一人1ページから、二人で1ページとしました。掲載情報は半減しますが、QRコードから議会映像をご覧いただくことができます。

今号は、議会改革推進協議会で調査検討中の「議員定数・報酬のあり方」を考える特集を掲載しました。一読していただき、今後の加美町議会のあり方をみなさんと共に考えながら進めていきたいと思っています。

(木村 哲夫)

議会広報常任委員会

編集委員

- | | |
|-------|--------|
| 委員 長 | 伊藤 由子 |
| 副委員 長 | 木村 哲夫 |
| 委員 | 尾出 弘子 |
| 委員 | 佐々木 弘毅 |
| 委員 | 柳川 文俊 |
| 委員 | 高橋 聡輔 |

発行責任者/宮城県加美町議会議員 早坂 忠幸
編集/議会広報常任委員会

〒981-4392 宮城県加美町字長檀75-2
TEL 0229-6715120 FAX 0229-6715130
https://www.town.kami.nyag.jp/ E-mail:kajimu@town.kami.nyag.jp